

教科の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- ・知識・技能
- ・思考・判断・表現
- ・主体的に取り組む態度

【評価の方法】

- ・授業の取り組み、鑑賞プリント、実技テスト、授業内小テスト等により総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・音楽的感動の体験により、生涯にわたって音楽に親しみ、音楽を愛好する心情を持ち続けるようにする。そのために、生徒が主体的に活動できる場数を数多く設定すること、生徒の感性に訴えかける様々な素晴らしい音楽に触れさせる。
- ・創作の指導、授業形態の工夫、教材の選択、視聴覚機器の活用をしていながら、幅広い音楽活動の経験をさせる。

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<p>新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう「校歌」「主人は冷たい土の中に」</p> <p>鑑賞 音楽の特徴から情景を想像しよう「春」</p> <p>曲にふさわしい表現を工夫しよう 校内合唱コンクールに向けた練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と歌う喜びをわかち合い、音楽学習への意欲、態度を育てる。 ・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴く。 ・校内合唱コンクールに向けて、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力を高める。
二 学 期	<p>校内合唱コンクール</p> <p>鑑賞 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取ろう「魔王」</p> <p>日本の歌の魅力を味わおう「赤とんぼ」</p> <p>アルトリコーダーのひびきを楽しもう 「聖者の行進」「オーラリー」</p> <p>鑑賞 世界の様々な楽器の特徴をとらえて鑑賞しよう「アジアの諸民族の音楽」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱を愛好する心情を育てる。 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、歌唱表現を工夫する。 ・リコーダーの基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫する。 ・アジアの諸民族の音楽に親しみ、そのよさや美しさを味わいながら聴く。
三 学 期	<p>歌詞と曲想のかかわりを感じとろう「浜辺の歌」</p> <p>イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう Let's Create!</p> <p>鑑賞 箏の魅力を味わおう「六段の調」</p> <p>歌詞と曲想のかかわりを感じ取り、先輩に音楽で気持ちを伝えよう 国歌「君が代」「校歌」「旅立ちの日に」他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取って、表現を工夫する。 ・イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくる。 ・日本の楽器の響きの魅力や音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。 ・全校合唱の豊かな響きを味わわせるとともに、心を込めて全校で歌い上げることのすばらしさを体験させる。

教科の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- ・知識・技能
- ・思考・判断・表現
- ・主体的に取り組む態度

【評価の方法】

- ・授業の取り組み、鑑賞プリント、実技テスト、授業内小テスト等により総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・音楽的感動の体験により、生涯にわたって音楽に親しみ、音楽を愛好する心情を持ち続けるようにする。そのために、生徒が主体的に活動できる場数を数多く設定すること、生徒の感性に訴えかける様々な素晴らしい音楽に触れさせる。
- ・授業形態の工夫、教材の選択、視聴覚機器の活用をしていながら、幅広い音楽活動の経験をさせる。

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<p>曲想を生かして表現を工夫しよう「翼をください」</p> <p>詞と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう「夏の思い出」</p> <p>アルトリコーダーのひびきを楽しもう「ラヴァーズコンチェルト」</p> <p>曲にふさわしい表現を工夫しよう 校内合唱コンクールに向けた練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱する。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫する。 ・パートの役割を理解し、全体の響きのバランスを考えながら表現を工夫する。 ・校内合唱コンクールに向けて、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力を高める。
二 学 期	<p>校内合唱コンクール</p> <p>鑑賞 曲の構成を理解して、曲想を味わおう 「交響曲第5番ハ短調」</p> <p>日本の歌やカンツォーネのよさを味わい、表現を工夫しよう 「荒城の月」「サンタルチア」</p> <p>鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう 日本の郷土芸能 器楽「さくらさくら」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱を愛好する心情を育てる。 ・曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴く。 ・歌詞の内容や曲想を生かして、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。 ・日本の伝統芸能の魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。
三 学 期	<p>鑑賞 名曲を鑑賞し、オーケストラの響きを味わおう 「ブルータバ」</p> <p>全校合唱の喜び 歌詞と曲想のかかわりを感じ取ろう 音楽で気持ちを伝えよう 国歌「君が代」「校歌」「旅立ちの日に」他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴く。 ・全校合唱の豊かな響きを味わわせるとともに、心を込めて全校で歌い上げることのすばらしさを体験させる。

教科の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- ・知識・技能
- ・思考・判断・表現
- ・主体的に取り組む態度

【評価の方法】

- ・授業の取り組み、鑑賞プリント、実技テスト、授業内小テスト等により総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・音楽的感動の体験により、生涯にわたって音楽に親しみ、音楽を愛好する心情を持ち続けるようにする。そのために、生徒が主体的に活動できる場数を数多く設定すること、生徒の感性に訴えかける様々な素晴らしい音楽に触れさせる。
- ・創作の指導、授業形態の工夫、教材の選択、視聴覚機器の活用をしていながら、幅広い音楽活動の経験をさせる。

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	日本の歌の魅力を見つけよう 「花」「ふるさと」 鑑賞 オペラの魅力味わおう 「アイダから 第2幕第2場」 曲にふさわしい表現を工夫しよう 校内合唱コンクールに向けた練習	・歌詞の美しさを味わいながら、日本の歌曲を愛好する心情を育てる。 ・オペラの特徴を理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・校内合唱コンクールに向けて、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力を高める。
二 学 期	校内合唱コンクール 鑑賞 歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう 「勸進帳」 リズム楽器で楽しもう 打楽器のための小品 Let's Create! 日本の魅力を味わおう 「花の街」	・合唱を愛好する心情を育てる。 ・歌舞伎の音楽の特徴を理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・楽器の特徴を生かして即興表現をしたり、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現する。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫する。
三 学 期	日本の心、イタリアの心を表す歌を味わおう 「早春賦」「帰れソレントへ」 鑑賞 名曲を鑑賞し、オーケストラの響きを味わおう 「ボレロ」 合唱の表現を楽しもう 歌詞と曲想のかかわりを感じ取る 音楽で気持ちを伝えよう 国歌「君が代」「校歌」「旅立ちの日に」他	・曲想を味わい、言葉の特性を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・楽器の音色や音楽の様々な構成要素を理解して、そのよさや美しさを味わって聴く。 ・全校合唱の豊かな響きを味わわせるとともに、心を込めて全校で歌い上げることのすばらしさを体験させる。